

ベルであり（このことの原因は種々考えられるが）、ましてや上記のような観測を日本の研究者が中心になって進めることは、遠い将来はともかく、近い将来にはまずないと思われる。現在では、このような計画とタイアップし、地上からの種々の観測（レーザーレーダ観測が中心となると思われるが、前述したように他に種々考えられる）を行い、良質のデータを組織的に集めるといった作業はある程度行えると思われる。さらには、大がかりな観測に参加し、大きな観測をこなして行くポテンシャルを引き上げる良い機会ともなると思われる。名大のレーザーレーダも、ある程度の貢献が出来るものと思ひ、上記の計画に前向きにとり組んで行くつもりで検討している。この計画について、このようなことをやったらいいのではないかということがあったら、ぜひご連絡下さい。

文 献

Braslan, N. and J.V. Dave, 1973: Aerosols on the

transfer of solar energy through realistic model atmospheres, Part I: Non-absorbing aerosols, J. Appl. Met., 12, 601-615.

Grassl, H., 1973: Aerosol influence on radiative cooling, Tellus, 25, 386-395.

Isono, K. and Y. Iwasaka, 1974: On the measurements of aerosols and growing droplets by two-colour lidar, presented to International Laser Radar Conference, Sendai, Sep. 1974.

Iwasaka, Y., A. Mita and K. Isono, 1976: Measurements of the stratospheric aerosols by two colour lidar, Rep. Ionos. Space Res. (Japan), 30, 16-20 (in press).

Iwasaka, Y. and K. Isono, 1976: Lidar observation of the stratospheric aerosols at two different wavelength, 0.6943 μm and 1.06 μm (submitted to J. Atmos. Terr. Phys.).

Proceedings of a symposium "Possible relationships between solar activity and meteorological phenomena" at the NASA-Goddard Space Flight Center, Nov. 7-8 1973.



倉嶋 厚, 青木 孝共著

防災担当者のための

天気図の読み方

東京堂出版, 1976, B 5 版, 205頁, 2,500円

天気予報のように応用の部門に属する技術を、これを始めて学ぶ人でしかもそれを本務としない人に教えることの難しさは私もよく経験している。この場合の困難さは説明をどこで打切り、どのように説明するかである。

とかく技術者がこの種の本を書くと、あれもこれもと付け加えて、あげくの果ては要領を得ない内容になり易いものだが、この本はこのあたりのことが大変にうまくまとめられている。これは著者の豊富な知識ばかりでなく、長い間広報関係にたずさわっていて対象者をよく知っているのも大きな理由であろう。

以上は私の読後感であるが、この本は天気予報の専門家のものではないので、天気予報は本務ではないが、日

常気象とはかなり密接な関係をもっている人に読んでもらった。それによると、この本の

(1) ファックス天気図の利用

(2) 災害天気図の顔つき

が他の本には見られない特長であると聞いた。

多分、この本を読むことにより天気図を見た時に“この天気図ではどんな異常気象に注意したらよいか”そして“気象台予報官にどこを更に詳しく聞けばよいか”なども分るようになる。このような知識を持つことは防災担当者にとっては大切なことで質問する部分も分らないようでは防災の実効は上らない。

テレビの天気解説の中には賛成しかねるようなものが見うけられるが、本書により正しく天気図を理解してもらいたい。防災関係者、山岳会の人たちなど直接に天気予報を利用する人たちが手もとにおいて読んでもらいたい本で、一度読んで“ああそうか”と積んで置く本ではない。なお、もう少し高層天気図のことを述べた方がよいように思うが、これは高層天気図の入手のむずかしい人達を対象にしたの配慮かも知れない。

(中山 章)